

マンスリーニュース

【当イベント案内】

9 月 7 日 営農型太陽光発電シンポジウム

9 月 16 日～18 日 FORESTRISE2026 第 5 回次世代森林産業展@東京ビッグサイト

1 活動報告

◆【7/23・24】自治体職員向け研修「第 19 期プラチナ構想スクール」第 1 回講義を開催しました

7 月 23 日（木）、7 月 24 日（金）と 2 日間にわたり、「第 19 期プラチナ構想スクール」の第 1 回講義を行いました。今期は全国の自治体から 14 名が参加し、2026 年 1 月までの間に様々な講義を受けながら「わがまちプラチナ構想」と題した事業計画案を作成します。オンライン聴講いただいた皆様におかれましても、ありがとうございました。

＜第 1 回講義内容＞	
一般社団法人プラチナ構想ネットワーク会長 小宮山 宏	「プラチナ社会の実現に向けてービジョン 2050 の実装ー」
名古屋大学大学院医学系研究科附属健康医療ライフデザイン統合研究教育センター特任教授 水野 正明 様	「医療と介護がつなぐ地域共生社会」 ～医療と介護がつなぐ地域共生社会～
株式会社野村総合研究所 顧問 増田 寛也 様	「人口減少社会を生き抜くために」
宇都宮大学地域創生推進機構社会共創促進センター特任准教授 山田 英二 様	「自治体の政策プロセスを科学する ～「わがまちのプラチナ構想」に向けて～」
東京大学未来ビジョン研究センター 教授 菊池 康紀 様	「未来ビジョンとシナリオと地域資源」
特定非営利活動法人グラウンドワーク三島 専務理事 渡辺 豊博 様	「地域協働で「水の都・三島」の環境資源を地域振興資源に再生」

◆【8/4～8/7】「2026 年度プラチナ未来人財育成塾」を開催しました

8 月 4 日（火）～7 日（金）の 4 日間で「2026 年度プラチナ未来人財育成塾」を開催しました。（於：東京大学 本郷キャンパス）

全国から 72 名の中学生が参加し、24 名の高校生・大学生・シニアチューターとともに「2050 年の社会と自分について考える」をテーマとして講義（宇宙や AI、GX、ジェンダーなど）の受講、グループワークやフィールドワーク（東京大学の研究見学など）を行い、最終日にはグループごとに発表を行いました。中学生たちは、他者との違いや共通点を感じ合いながら沢山の未来を描きました！

また、昨年に続き今年も「プラチナ構想スクール（自治体職員を対象とした人財育成事業）」の受講生 14 名も参加し、中学生と同じ場所で社会人視点のグループワークや発表を行いました。

ご登壇頂きました講師は、下記の方々です。

菊池 康紀 氏	プラチナ未来人財育成塾塾長、東京大学 未来ビジョン研究センター 教授
平石 和昭	プラチナ構想ネットワーク 参与
鈴木 香菜 氏	ボストン・コンサルティング・グループ Partner
横山 広美 氏	東京大学 国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構・学際情報学府教授
山崎 直子 氏	宇宙飛行士、公益財団法人 日本宇宙少年団(YAC)理事長
岡田 隆太郎 氏	一般社団法人ディープランニング協会 専務理事

◆【7/31】日経地方創生フォーラム「北九州、次世代エネルギー都市の最前線」を開催しました

7 月 31 日（金）、リーガロイヤルホテル小倉にて、日本経済新聞社主催の日経地方創生フォーラム「北九州、次世代エネルギー都市の最前線」が開催されました。

当日は、当会会長の小宮山が基調講演「成熟国家が目指す『プラチナ社会』」を行いました。また、染め Q テクノロジー株式会社 菱木社長による企業講演のほか、大庭 千賀子氏（北九州市副市長）、林 灯氏（九州大学エネルギー研究

教育機構 教授)、松本 一道氏(九州電力執行役員テクニカルソリューション統括本部 総合研究所長)、菱木社長(染め Q テクノロジー株式会社)を交えたパネルディスカッションが行われました。

本フォーラムの内容は、後日、日本経済新聞に掲載予定です。ぜひご覧ください。

◆【8/21】プラチナ再生可能エネルギー産業イニシアティブ 3 分科会連絡会

6 月よりスタートした需要・供給・需給安定化の 3 分科会連絡会議。8 月 21 日(金)に第 2 回会議を実施しました。3 分科会に共通するテーマである「水素」について、需要量や供給方法、需給安定化をイメージして水素を実際に社会に実装していくためにどのような課題があるか、様々な角度から議論を行いました。

次回は 10 月に開催予定です。

2 ご案内

◆【9/7】プラチナシンポジウム『望ましい営農型太陽光発電と地域主導の制度設計』開催

2026 年の農山漁村再エネ法の省令改正を受け、今後の営農型太陽光発電のあり方を議論するシンポジウムを開催します。本会は単なる新制度の説明にとどまらず、農林水産省が示す「望ましい営農型太陽光発電」の方向性や国の基本方針、市町村基本計画のあり方を検証。行政・農業・金融・エネルギーなど多様な関係者が集い、不適切案件を防ぎつつ地域農業の維持と脱炭素を両立させる実装手法を議論します。詳細は添付チラシや[ホームページ](#)をご参照ください。

◆【9/16~18】FORESTRISE2026 第 5 回次世代森林産業展への出展

東京ビッグサイトにて開催される [FORESTRISE2026\(第 5 回次世代森林産業展\)](#) にプラチナ構想ネットワーク(プラチナ森林産業イニシアティブ)として出展いたします。

今回は、王子ホールディングス(株)、(株)四門、中部電力(株)、東京農工大、(株)フランクウッドとともに共同でパビリオンを展開し、ブース展示のほか会員団体による特別セッションを行います。また、最終日の 9/18(金)には、セミナー「日本が輝く、森林循環経済の実現」を開催します。ぜひ展示ブース及びセミナーにお立ち寄りいただけますと幸いです。皆様のご来場をお待ちしております。

* 詳細は、[当法人ホームページ](#)をご覧ください。

* 入場は無料ですが、事前の[来場登録](#)が必要です。

* 当会が運営する Web メディア「[森林循環経済](#)」が本展示会のメディアパートナーとなっております。

◆会員連携

・7/29 株式会社モシーモと株式会社三菱総合研究所より、「AI 子育て支援『ホンネバンク AI』実証フィールド・地域連携パートナー募集」の新規ご提案

ホンネバンク AI は、24 時間いつでも匿名で相談できる AI チャットを入口に、行政に届きにくい子育て家庭の孤独・孤立を早期に捉え、必要な支援につながる予防型支援サービスです。

2026 年度内の実証に向け、フィールド提供、住民への周知、連携窓口の設定にご協力いただける自治体等を募集します。

3 その他

◆会員動向 (2026 年 8 月時点)

全 1046 会員

(法人 192 社 / 自治体首長 226 名 / 学術・研究 3 社 / 個人 86 名 / 社会実装 5 名 / 未来共創 615 団体)

2026 年 7 月理事会により、以下の方の新規入会が承認されました。

法人会員 B : 高砂熱学工業(株)、銘建工業(株)

法人会員 C : 認定 NPO 法人サービスグラント、日南町森林組合、(株)Freedom、(株)ワコー

学術・研究会員 : 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

◆小宮山会長による『財界』の連載記事「TM 手帖」を HP で公開中

ビジネス書籍の独立系出版社「財界研究所」が出版する『財界』において、小宮山会長が「TM 手帖」という連載をしています。プラチナ構想ネットワークの HP にて、最新号の連載記事を公開しています。是非ご覧ください

<https://platinum-network.jp/news/>

一般社団法人プラチナ構想ネットワーク 担当 : 宮鍋、大村

Email : jimuinfo@platinum-network.jp HP : <https://www.platinum-network.jp/>

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10-3 Tel : 03-6858-3546